

知仁会だより



理念

- ・私たちは、患者様を身体面・精神面・社会面の三つの軸でトータルに理解し、治療と支援を行います。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、患者様への接遇やサービスの向上と医療の安全に尽くします。
- ・私たちは、患者様の個人情報保護と企業情報保護に全力で取り組みます。
- ・私たちは、良質で効率的な医療・看護・介護・リハビリ・福祉サービスを目指します。
- ・私たちは、健全な病院経営を行います。
- ・私たちは、知仁会の施設サービス・在宅サービスを通じて一生をあたたくお世話します。
(ターミナルケア実施)
- ・私たちは、地域社会と連携し、地域社会への貢献に努力します。
- ・私たちは、障がい者の人権を擁護し、差別と偏見の解消に努めます。
- ・私たちは、仕事の意義と組織の一員であることを理解し、知仁会に誇りを持ち、より向上するために支え合って働きます。

患者様の権利憲章

- ・個人として、その人格を尊重し、最善の医療を公平かつ安全に受ける権利があります。
- ・病気、検査、治療、リハビリなどについて十分な説明を受ける権利があります。
- ・患者様の個人情報、及びプライバシーは保護されます。
- ・転医、転院等を希望する場合は必要な情報を提供します。また、他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。(セカンドオピニオン)
- ・診療情報の開示を推進し医療の透明性の確保に努めます。
- ・良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利があります。
- ・精神科医療においては、精神保健福祉法に準拠した施行がなされます。
- ・良質な医療を実現するために、患者様ご自身の健康に関する情報を出来る限り正確・迅速に知らせる責務があります。
- ・患者様自身が納得できる診療を受けるために、医療に関する説明についてよく理解できなかったことについて、よく理解できるまで質問をする権利があります。
- ・すべての患者様が快適な環境で医療が受けられるよう、病院内のルールやマナー、職員の指示をお守りいただく義務があります。

理事長挨拶

医療法人社団知仁会 理事長 石井 知行

やっと新型コロナウイルス第6波が終息しつつあって小康状態を保っていたため、病院の諸活動が日常に戻れるのではないかと思われていた矢先、BA.5による第7波が発生しました。職員の報告・検査体制を厳密に行い、感染予防は厳重にしておりますが、残念なことにそれでも数例の職員によるコロナ陽性侵入例がありました。いずれも勤務前から発熱はなくても咽頭痛などの症状があり、勤務後にPCR陽性が判明した事例です。該当病棟はアウトブレイク体制を取りましたが、いずれの病棟も患者様への感染は無く短期間で解除となりました。このような例は夜勤者に多く見られていましたが最近は日勤者にも見られだしました。職員の報告・検査体制に記載された症状があれば必ず勤務前に検査を受けてください。これからも新型コロナ禍は延々と続きそうですので、油断することなく厳重に感染管理を努力して参りましょう。

7月の院内行事予定

日時	行事名	主催	内容	場所
28日(木)	防火訓練	医療安全管理委員会 教育委員会	今年の防火訓練では、「消防設備の適切な運用方法と使用手順の再確認」というテーマで訓練を行います。	本館・別館 ゆうゆ・みらい
13日(水) 21日(木)	ワーカー研修会	教育委員会 医療安全管理委員会 褥瘡対策委員会	理学療法士が担当となり「ポジショニング(体位変換)について」というテーマで研修を行いました。	メープルホール
28日(木)	知仁会研修会	教育委員会 倫理委員会	メープルヒル病院内科 加藤礼子医師が講師となり、「終末期医療(人生の最終段階における医療)について」というテーマで研修を行います。	メープルホール
6日(水) 20日(水)	摂食機能専門職	S T 医療安全管理委員会	新入職員・未受講者対象	言語聴覚療法室
-	摂食機能専門職	S T 医療安全管理委員会	「修了証」更新者対象 ※自己分析シート実施 講習なし	-

7月の実習・研修予定

期間	場所	研修・実習内容	施設名	人数
6月15日(水)～8月10日(水)	病院	理学療法科実習	広島都市学園大学	1名
6月20日(月)～8月5日(金)	病院	言語聴覚療法科実習生	広島国際大学	1名
7月4日(月)～7月29日(金)	病院	研修医	岩国医療センター	1名

<知仁会研修会報告> 「隔離・身体拘束(抑制)」 行動制限最小化委員会 倫理委員会・教育委員会

令和4年6月30日(木)、メープルホールにて知仁会研修会が行われました。今回は精神科 野見山敏之医師が講師となり、「隔離・身体拘束(抑制)」というテーマでお話がありました。

身体拘束は、基本的に行ってはならないものです。しかし、緊急の場合や、やむを得ない場合には拘束が認められています。その場合でも、①切迫性(利用者または他の利用者の生命・身体が危険となる可能性が著しく高いこと) ②非代替性(行動制限を行う以外に代替する方法がないこと) ③一時性(身体拘束が一時的なものであること) といった条件を満たさなければなりません。

研修会では身体拘束(抑制)・隔離についての関連記事の紹介があり、職員にとって大変勉強になる内容であったと思います。



広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

認知症に関するお困り事の相談（専門医療相談）
受診のご予約
認知症の診断・治療
認知症初期集中支援チーム

介護保険代行申請
介護予防ケアプランの作成
地域の健康作り・情報発信
認知症カフェ オレンジカフェいこか！ 等

専門医による鑑別診断及び専門外来
月曜日～木・土曜日（金・日祝祭日休み）
9：30～12：00（※予約制）

電話相談・受診のご予約
月曜日～土曜日（日祝祭日休み）
8：30～17：30

☎ 0827-57-7461（直通）

認知症サポーター養成講座 ～大竹市内 小学校にて～

令和4年6月2日（木）、3日（金）に大竹市内の小学校5年生を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。この講座により、112名の認知症サポーターが新たに仲間入りしました。こちらの小学校では、5年生の総合の時間に福祉（高齢者との関わり）について学習をしているそうです。今回の認知症サポーター養成講座はその一環として受講していただきましたが、講座開催時にはすでに認知症や居宅介護支援事業所等について学習が進んでおり、意見や質問が次々に出る等、児童の興味関心が高いことが分かりました。医療・福祉に携わる我々としても、とても心強く、嬉しく感じました。



～認知症に関する動画の作成について～



今回の講座では、認知症に関する動画を当センターがオリジナルで作成し上映しました。これまでも「わたしのおばあちゃん」という題で、自宅での家族とのやり取りをテーマとしたオリジナル動画を作成しましたが、今回はスーパーのレジをテーマにしました。今後もより分かりやすく、楽しく学習していただけるよう工夫をしていきたいと思っております。現時点で決定している認知症サポーター養成講座は、**令和4年9月21日（水）14：00～ 大竹市立図書館にて開催予定です。**お申込み・お問合せは当センターまでご連絡ください*。

認知症カフェ オレンジカフェ いこか！ 開催しました！



令和4年6月24日（金）にコミュニティサロン玖波にて開催しました。今回のミニレクチャーでは、「声筋を鍛えよう～転倒・認知症予防～」というテーマでお話をしました。声筋とは、声帯周辺の筋肉のことで、転倒・認知症と深い関わりがあります。のどの役割は「声を出す」「息をする」「食べ物を飲み込む」だけではなく、踏ん張る力も生み出します。声帯を閉じて気道を閉鎖し、空気で膨らんだ胸郭を安定させて姿勢を保つことで必要な時に力を出し、踏ん張ることができます。のどを閉じることができないと踏ん張ることができず、転倒につながります。声筋を鍛えるトレーニングとして、湯舟につかりリラックスして歌う「風呂カラオケ」や、水が入ったグラスにストローを浸け、5秒間「ウー」と一息で声を出す方法があります。どちらも手軽にできるトレーニングです。是非取り組まれてみてはいかがでしょうか。

ミニレクチャーの後は、ちぎり絵を作成していただきました。ちぎり絵は手先を使う他、鮮やかな色を見たり選んだり、どのように貼るかを考えることで、脳の活性化が期待されます。その他、ちぎり絵の作成を通して、普段なかなか確保することができない静かでゆったりとした時間を共有いただくことで、精神的にも癒されていただきたいという思いから、今回初めて実施させていただきました。**次回の認知症カフェ オレンジカフェいこか！は、7月15日（金）14：00～ おがたピアにて開催予定です。**お申込み・お問合せは当センターまでご連絡ください*。

※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて中止することもあります。詳細については、当センターまでお問合せください。ご参加いただく際は、感染拡大防止への取組（マスク着用、体調確認等）へご協力をお願いいたします。



熱中症にご注意ください

メープルヒル病院 内科医師 佐々木 富美子

近年夏の気温は上昇傾向にあります。今年は例年よりさらに厳しいものになっています。今年は1951年の気象庁統計開始以降、最も早い梅雨明けとなり梅雨期間は6月14日～28日までの14日間という短いものでした。

これだけ聞いても、今年の夏は大変暑そうですが、暑いだけではなく一番心配なのが熱中症です。今年は暑さに体を徐々に慣らしていく期間がなく、一気に真夏がやって来た為、私たちの体は対応しきれず熱中症になる人も増えてくると思われまます。命にかかわる熱中症にならないため、以下の事に注意し、今年の夏を乗り切りましょう。

①暑さを避けましょう

- ・室内ではエアコンの温度設定をまめに調節
- ・外出は暑い日時を避ける



②適宜マスクを外しましょう

- ・コロナ禍のためマスク着用をされていると思いますが、気温・湿度の高い中マスク着用をすると熱中症のリスクが上がります。人のいないところでは適宜外しましょう。
- ・マスク着用しているときは、負荷のかかる作業や運動をせず、屋外で人がいないところではマスクを外し適宜休憩しましょう。

③こまめに水分を補給しましょう

- ・のどが渇く前に、こまめに水分を補給しましょう。
→目安は1日当たり1.2リットル（コップ約6杯分）です。
- ・たくさん汗をかいたときは、スポーツドリンクや塩あめ等で塩分の補給も大切です。



④日頃から健康管理をしましょう

- ・日頃から体温測定をしておきましょう。
- ・飲みすぎ、朝食を抜くなどは熱中症を誘発しやすくなります。



⑤熱中症警戒アラートを活用しましょう

- ・環境省と気象庁が「熱中症警戒アラート」の運用を開始しています。
熱中症警戒アラートが発表されている日の外出は控える、エアコンを使用する等の適切な熱中症予防行動をとるため、積極的に利用しましょう。

* 高齢者の方に対する注意点

高齢者は暑さを感じにくい上に、体温調節機能の役割を果たしている発汗と血液循環が低下しています。また、のどの渇きを強く感じないため水分不足になりがちで、気づかぬうちに熱中症を起こしてしまう場合があります。暑さを感じなくても、室温をチェックしエアコンを利用し、こまめに水分を補給しましょう。

* 熱中症の症状

I度（軽症）	めまい、失神、筋肉痛、こむら返り、大量発汗
II度（中等症）	頭痛、気分不快、嘔気、嘔吐、脱力感、ぐったりする
III度（重症）	意識がなくなる、けいれ、歩けない、高体温



口腔ケアの重要性

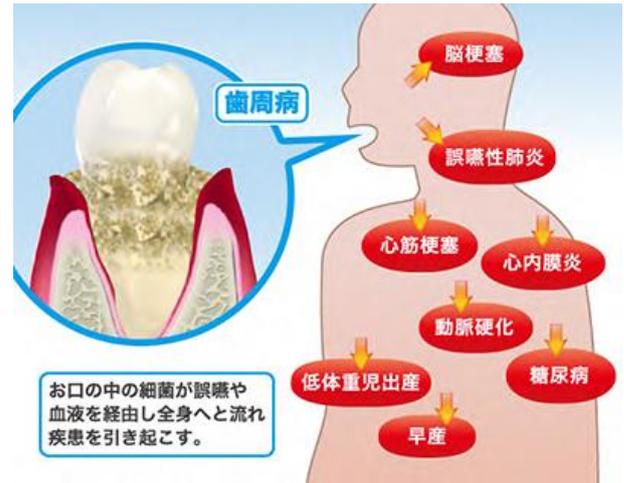
歯科衛生士 洞口 未央

歯磨きやうがいなどの口腔ケアは、どんな時に行うべきでしょうか？口腔ケアの目的は、口の中を清潔にする事だけではありません。歯や歯肉、舌などを健康に保ち、咀嚼や嚥下といった口腔の機能をできるだけ維持する事にもあります。

また、口腔ケアは QOL の向上のみならず、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持、向上にもつながります。

「口の中の汚れ」のひとつに、歯垢（プラーク）と呼ばれるものがありますが、これは多くの細菌が繁殖した塊です。一ミリグラムの歯垢の中には、およそ三百種類、一億個以上の細菌が存在しています。細菌の塊である歯垢は、以下のような全身疾患に関与するといわれています。

- ・動脈硬化などの血管系の病気
- ・心臓の病気
- ・肺炎などの呼吸器疾患
- ・糖尿病 など



例えば口の中の細菌を誤嚥すると、誤嚥性肺炎が引き起こされやすくなります。予防策として「誤嚥をおこしにくいようにする」ことも大切ですが、たとえ誤嚥しても誤嚥性肺炎に移行しないよう、口腔ケアによって口の中の細菌を取り除いて清潔にしておくことが重要です。

特に要介護高齢者の方は、免疫力が低下しており、健康な人にとっては病原体とならないような細菌によって、日和見感染や感染性心内膜炎などに陥ることがあります。ですが口腔ケアを行えば、これらの疾患を予防できることが分かっています。つまり口腔ケアは、単に歯や歯肉のためだけではなく、全身疾患の予防という生命の維持、増進に直結したものでもあるのです。

毎日の歯磨きは、簡単でささやかなケアですが、全身のためにもしっかり習慣をつけ、お口の中をきれいに保ちましょう。

参照：健康長寿ネット「口腔ケアの必要性」

日本臨床歯周病学会「歯周病が全身に及ぼす影響」



新入職員紹介

患者様・ご家族様により良いサービスを提供していけるよう頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

別館 2階 看護師 平田 玲子	いつも笑顔で患者様に対応できるように	理学療法士 新田 彩人	理学療法士になったばかりで
	頑張っていきたいと思います。		分からない事が多いですが、精一杯
			頑張りますのでよろしくお願い致します。
新館 3階 看護師 嘉藤 美鈴	はじめまして、嘉藤（かとうと読みます）	本館 5階 看護師 嘉藤 隆介	ご迷惑をお掛けする事があると
	美鈴です。ご迷惑をおかけしますが、		思いますが、頑張りますので
	よろしくお願ひします。		よろしくお願ひ致します。

★意見箱便り



多数のご意見を頂きありがとうございました。患者様、ご家族様からのご意見への回答は随時院内にも掲示しておりますが、知仁会だよりでも一部掲載させていただきます。その他何かご意見等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

開封日	内容	回答
2022/1/17	<p>昨年の6月から父が入院してお世話になっています。11月になって直接面会ができるようになりましたが、面会の日には父の体調が悪いことが多く、なかなか会話ができません。しかし看護師やスタッフの方が体調が良い時の様子を詳しく話して下さることが本当にうれしいです。スタッフの方との会話が父の支えになっていると思います。心から感謝します。今後ともよろしく願います。</p> <p>(新館3階)</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。今後も入院患者様に寄り添った療養生活が提供できるよう、看護・介護に気配りを重ね、努力して参ります。ご意見ありがたく受け止めさせていただきます。</p> <p>(新館3階)</p>
2022/1/17	<p>今日の焼きそばはとても美味でした。</p> <p>(本館4階)</p>	<p>嬉しいご感想ありがとうございます。食事を提供するようで、とても励みになります。今回喜んで頂けた焼きそば以外にも、肉うどんや夏季限定の素麺など、様々な麺類を提供しております。また、新しいメニューの考案に努めて参りますので、楽しみにしていただきたいと思います。</p> <p>(栄養課)</p>
2022/5/24	<p>薬をもらうまでの待ち時間が長すぎる。</p> <p>(外来)</p>	<p>今後なるべくお待たせしない様、努力いたします。また、遠慮なくその都度お知らせ頂ければ幸いです。</p> <p>(薬局)</p>



新型コロナウイルス感染情報

感染症対策に係るデータの分析と周知

企画課長 宮田 卓郎

週ごとの新型コロナ陽性者数

(人)

日付	6/20~27	6/28~7/4	7/4~11	7/12~18
広島県	2,192	2,809	4,028	8,299
山口県	883	1,245	1,966	4,301

※広島県・山口県 HP よりデータ引用

当法人では、毎週火曜日に全部門運営会議を開催し、周辺の感染情報を共有しております。上記表は、会議内で共有している数値の一部となりますが、この1ヶ月で、広島県・山口県ともに、感染者数が爆発的に増加していることが見て取れることから、現在、より一層の感染症対策を行っております。このような最新情報を全職員が共有・認識し、直ちに日々の感染対策に取り組んでおります。このことが、入院入所者様・ご家族様の安心できる一因となれば、幸いです。

★ 医師のスタッフ数

	常勤医師	非常勤	医師合計数
精神科	5名	2名	7名
内科	4名	15名	19名
放射線科	1名	0名	1名
合計	10名	17名	27名 ※基準数9名
歯科	0名	5名	5名

★ リハビリのスタッフ数

	リハビリスタッフ数（非常勤）
理学療法士	11名（5名）
言語聴覚士	3名（0名）
作業療法士	10名（1名）
合計	24名（6名）※基準数13名

★ 敷地内禁煙について

当院では敷地内での喫煙を健康増進法に従って禁止しています。喫煙につきましては、敷地外の所定の喫煙場所をお願い致します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

★ 外来診療担当

認知症疾患医療センターで、もの忘れ外来も実施しております。

	月	火	水	木	金	土
精神科	石井 知行	野見山 敏之	石井 知行	野見山 敏之	河内 英基	岡村 仁
内科	佐々木 雅敏	佐々木 富美子	松尾 行雄	加藤 礼子 茶山 一彰 (第2・第4)		芹川 正浩
歯科	広大医師 第2月曜のみ	広大医師	広大医師	広大医師		
認知症疾患 医療センター	石井 伸弥 (初診)	石井 伸弥 (初診)	日野 亮真	日野 亮真		河内 英基

★診療時間：精神科 9:15～12:00・内科 9:30～12:00・歯科 9:15～12:00

認知症疾患医療センター 9:30～12:00（予約及び緊急時は午後も診察します。）

★当院外来では、ヘリカルCT、腹部超音波検査を行っています。御希望の方は外来スタッフまでお申し出下さい。

※ヘリカルCT・レントゲン検査は午前中のみになりますのでご注意ください。

★令和4年6月より、認知症疾患医療センター水・木曜日担当の医師が日野亮真医師に変更になりました。

★ 地域連携室のご案内

★入院、退院、在宅サービス、施設見学についてのご相談、また、苦情、お困りごと、その他、ご質問等ございましたら、地域連携室までお気軽にご相談下さい。スタッフ一同、プライバシー保護を遵守しておりますので、患者様、ご家族様から知り得た情報は了解なしに第三者に開示されることは決してありません。ご安心してご相談ください。

★地域連携室の主な業務：入院相談・退院相談・入院生活や退院後の生活についてのご相談、医療福祉サービスや制度などのご案内・諸手続の援助等

地域連携室（メープルヒル病院本館1階）0827-57-7451

責任者：地域連携室 福原 啓司

個人情報保護に関する医療法人社団知仁会の基本方針

知仁会は常日頃より患者様・利用者様の視点に立ち、質の高い医療の実現とよりよいサービスの提供を目標として、診療業務を営んでおります。患者様・利用者様の健康状態に応じて迅速に確かな医療を提供させて頂くためには、患者様・利用者様に関する様々な医療情報が必要です。患者様・利用者様と確かな信頼関係を築き上げ、安心して医療サービスを受けて頂くために、患者様・利用者様の個人情報の安全な管理は必須です。知仁会では、下記の基本方針に基づき、医療情報の管理を行い、患者様・利用者様の個人情報保護に厳重な注意を払って参ります。

1. 個人情報保護に関する法律を遵守し、患者様・利用者様の情報を個人情報保護委員会で管理しています。
2. 診療及び病院の運営管理に必要な範囲においてのみ、患者様・利用者様の個人情報を収集しています。
3. 患者様・利用者様の個人情報への不正アクセス、紛失、改竄及び漏洩を防止し、安全対策を実施いたします。
4. 一部、検査等を外部の医療施設等に委託する場合があります。その際に、患者様・利用者様の情報をこれらの施設に知らせる必要のある場合があります。この場合、知仁会では、信頼のおける施設等を選択すると同時に、患者様・利用者様の個人情報が不適切に取り扱われないように契約を取り交わします。
5. 患者様・利用者様が継続的に良い医療を受けられるように、診療に関する情報を、病院、診療所などに提供する場合があります。また、ご本人様、ご家族様に事前に承諾をいただいたうえで、学会や研究等で医療の発展の目的として情報を利用する場合があります。
6. 患者様・利用者様の必要に応じて、診療情報を開示しています。しかし、最良の治療の継続に支障をきたすことが考えられる場合は、開示しないことがあります。
7. 知仁会では、患者様・利用者様の取り違えなどの事故を防ぐため、入院患者様・入所者様氏名を病室・療養室前に掲示しております。ご理解、ご協力をお願いいたします。名札の掲示についてご希望がありましたらお申し出ください。
8. 知仁会では、原則として面会制限は行っておりませんが、面会に関してご本人様、ご家族様の希望がありましたら病棟職員にお申し出ください。



医療法人社団 知仁会

〒739-0651 広島県大竹市玖波5丁目2番1号

TEL 0827-57-7451

FAX 0827-57-5312

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>



メープルヒル病院

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・
玖波地区地域包括支援・合併型センター
地域活動支援センターみらい



介護老人保健施設ゆうゆ

ゆうゆ居宅介護支援事業所
ゆうゆ訪問看護
ゆうゆデイケア
訪問リハビリテーション

＜アクセス方法＞

■ JRご利用

広島駅から玖波駅 35分

玖波駅から

バス・タクシー約5分／徒歩約10分

(玖波駅西口から送迎バスを運行しております。)

送迎バスは玖波駅発 9:30、12:35

となっております。)

■ 山陽自動車道ご利用

大竹インターから約5分



＜患者様へお願い＞

1. ご自身の健康に関する正確な情報をお伝えください。
2. わからないことがありましたら、ご納得いただけるまでご質問ください。

●メープルヒル病院、老人保健施設ゆうゆ、各社会復帰施設の紹介や知仁会から発行する広報誌、毎月の行事一覧、知仁会のサービス案内などを掲載しています。
また、皆様からの質問・相談窓口としてホームページ上にご意見板を用意していますので、知仁会に関する質問や日常生活の様々な悩み・相談、また見学のお問い合わせ等ありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

●求人に関する情報もありますので、ご覧下さい。
ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>

●本誌に掲載されております写真等につきましては、ご本人あるいはご家族の了承を得て掲載させて頂いております。

●知仁会だよりについてのお問い合わせ、ご意見は担当：濱浦・横山・福島までお寄せ下さい。